

皆様に聞いていただきたいのは？

か
み
さ
ほ
み

私共は毎日（）、幼稚園へ参るりまして、可愛い子供から先生と呼ばれ、母親からはどうぞお願ひしますご心から？はた形のみか、兎も角も信頼されて居りますがその幼兒を如何に教育すればよいかといふ事については實は内心には云ふに云はれぬ不安を感じつゝ誠に覺束ない生活をつづけて居る者で御座ります、私共は毎日子供から「あなた」は物足らぬ所がある、「あなた」はまだ（）御存じのない所がある、もつと（）あかるい、うるはしい「あなた」が欲しいと云はれる様な心地がしてなりません。

私共は此の刺戟を受けた時ほど苦しい事はないのです、斷腸の思ひとは此の事でせうか、過去に受けた講習の筆記を繰り返して見る事もあります、小兒の研究を記した書物を縒いて見る事もあります、時にはなる程と合點する事もあり、つくづくと自分の足りない事を感ずる事もあり、また研究をする

書物の少ないのを慨くこともあり、指導して下さる方の手近かにないことを嘯つこともあるのです。

併しこれなどは自分で自分を鞭つたり、工風をしたりして努力を致しますれば時に光明を認める事もあり自分で自分の心に満足を與へる事が出来るので茲に幼兒の爲めに渾身の力を盡して爲し得る時の愉快さは又一段の嬉しさと勇氣とを奮ひ起す事が出来るのですが、一番私共の苦痛とする所は、爲し得る事がある事情の爲めに幼兒の教育に障礙を來し進歩を妨ぐる様な事が毎日（）頭に響く時ほど口惜しさを感じる事はありません、内心悶々として居ても立てる事は居られぬ事が時々あるのです。

この煩悶を何んとか自分で解決して見たいと考へて同じ煩悶に悩まされて居る同僚と一夜語り合ひましたが解決はさておき、ます（）混亂するのみです、

具體的に不可解の問題が互に交換されるのみです。

誰か私共の心情を察して救つて下さる方はないか、

とも考へて見ました、不明の私共には其人を知り得

ません、苦しみの極に達して一策を案出致しました

それは幼兒教育の誌上に訴へて皆さまのお指導を受

けることです、同情ある皆様、私共の内幕を世上に

持出して皆様に不快な感じをおさせ申さうとするの

ではなく又別に野心あつて申上げる様な卑劣な心持

はいさゝかもないので、唯こゝに心情の一端を披

瀝して御教へをいたゞきたい慰安を與へていただき

たいといふ事より外に何にもありません、どうぞ其

點をお汲み取り下さいませ。

さて私共の園は百五十人の幼兒を園長さんと四人

の同僚の方とで保育いたして居ります、園長さんは

矢張婦人で御経験のあるお方です、私共二人は五人

のうちで一番若いものです。

毎朝園長さんの御出勤のときは、保姆は今迄見て
居た幼兒を振り捨て、立闘に出迎へて草履を揃へ
る、履物を片付ける、お荷物を受取る、それはく
大變です、私共兩人は幼兒を見るのが大切と存じま
すから二人で交番に出迎へをするのですが、これが

大いに御機嫌を損じて居ります。

園長さんは部下の私共には隨分厳しく高壓的ですが、外交は中々御上手で有力者とか財産家の保護者には實にえらい手腕を持つて居られるのです、それに中產階級以下の父兄と以上の方とは其區別のあまりに明らかさには驚き入ります。組分けをするにも遊戯會に演じます子供の選擇にも必ずこの標準が伴ひますから。私共の心は穏やかには済まされません。

何か計畫を話されました時に、それに對して意見を申上げると一擊の下に叱り付けられ六ヶ敷い目で御覽になるので、私共の様な氣の小さいものは震へてしまひます、又園の主義方針など伺ひましても何時も合點の出来る事はなくて益々疑ひを増す計りです質問などうつかり致しますとそんな心持で伺つたのでないのに變にお取りになつて「此頃の若い者は生意氣で口計り達者だ」と仰せらるゝので二度と聞くわけに参りません、隨分教育的でもない、幼兒に不適當で、却てわるい弊害を幼兒に與へはすまいとひやゝはらゝする事が度々あつても之れに對して一言でも申せば大變な事になるのです、殊に

同僚の内でも御機嫌取り専門で、家庭に迄行つてお洗濯やら縫物やらお使ひをして、それで縁をつないで居る方が、そばからちよい／＼口を出されるので益々六ヶ敷くなるのです。

保護者の參觀や、視學の巡視、町長さんのお出でのときは平常の保育の仕振りではいけませんので、殊更に飾られたものでなさねばなりません、丸で幼兒に虚偽を示す様なもので、敏感な幼兒達は「やあ今日はお客様があるから又あれだらう」探し先き走りをしますので私共は衷心から恥づる場合も少なくないのです、講習があつて私共が出たいと思ひましても、思ふ様に出して下さいません、他から聞きましたのに、はあなた方の園長さんは「部下を講習に出すと園の事をいろいろ喋べり散らすからそれで出さない」と仰せられましたよとの事です。

幼兒教育は設備が大切だと申す事ですが、積木は二十年も前のもので恩物も皆其通りで近頃の新らしいものは一つもありません、共同の大積木もなければ滑り臺もなく唯不充分な小さな砂場と二人掛のぶらんこがあるだけです、これで私共が完全に幼兒の教育が出来ませうか。

云はふと思ふ事は壓迫されて申出る事も出来ず、云へば氣色を損する計りで見す／＼わるいと知りつ致さねばならぬ、この様な園が他にあるでせうか、皆さまが御自分をかゝる園に於いて勤めると御考へ下さい、實に私共の苦しい境遇が分つていたゞけませう、まして保母室の空氣は冷たいのです、保育の源泉とも申すべき其室が、にらめつくらでは、私共の氣分がどうして春の様になれませう、其いやな氣分が幼兒に感じはせまいかと心配するのです。

それなら其園を辭したらよいのではないかと仰せらるゝお方もありません、私共二人は其町に育つて其町のお世話になつた關係がありますから、遂に今日になつたのと、幼兒の事を考へるとやめる心も鈍ぶるのです、かやうな事情の間に處して行つて少しでも園児のためになる様に致しますはどうすればよいでせうか。

次に苦しんで居ります事は、自分の力の足らぬ事です、打あけて申せば私共は高女を出た計りで保母になつたのです、ある時は教育學の本を買つて讀んだ事もあります、心理學を見た事もありますが、保育に適切なものを探しましてもよい本が見つかりま

せん、東京へない／＼二度講習に出て聞けば聞く程六ヶ敷くなつていよ／＼分らなくなりました、本は

なし聞く人もなし、何んによつて自分を研きませうか、保姆はどつらい者はないと思ふ事がたび／＼です、併し子供に接しました時の愉快さが私共を幼稚園に引きとめるのです。これが煩悶の第二です。

進歩的に研究的に進まうとすれば上から壓迫されて出来ません、又思ひます、今日の時世は婦人の改善が大切で何事も控へ目にして口を開かず不平があつても表はさぬのが婦徳として居る時代は疾く過ぎ去つたのです、むやみに人を壓迫する事はどの社會でも最早許さぬのに、私共はまだ其弊を脱する事が出来ないのは實に遺憾です、殘念です、この廣い我國保育界にある保姆さまの中には私と同感な方が必ずある事と信じます、私共が男子なら早く組合とか何かを起して大に活動致しますのに、家もちで女子なのですから、思ふ計りで出来ません。何とかよい方法はありますまい。

又自分を力あるものにする爲めには「幼兒教育」にもつと／＼適切な研究や經驗談をどし／＼載せて頂いたら私共大へんに仕合を致すのです、文部省の講

習も保姆の考へを聞いて科目を選んで下さいましたら尙一層效果あるものとなるでせう。

尙こゝに是非願ひたいのは短期の講習でよいのですが地方の所々に開いて、私共の學力を進めていただきたいのです、私共の縣の理事者も師範校長も視學の方も幼稚園教育にあまりに冷淡です、私共が参りまして何かお願を致しましても重く聽いて下さいません、小學校の先生は幼稚園がお分りなくて唯小學校がゑらいものゝ様に考へて、學齡前の子供は教育の必要なしなどゝ暴論を吐かれことがあります、保姆の位地が社會に認められないでの、いろ／＼の困難があるのです、將來は保姆の學力を進めて資格を高めていたゞき小學校の先生と同等にして頂きたいと存じます、そして全國各縣の保姆が協力して事に當つたら、ほんとうに此上ない愉快な事で又幼兒教育上必要な事と存じます。

あまり長く紙上を汚すと申譯が御座るませんからこれにて。